

## エフセキュア、身代金を要求するランサムウェアに注意喚起

(2010年1月26日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

**ランサムウェアは、トロイの木馬の一種で、感染したコンピュータのファイルを修復するための費用、つまり身代金をユーザに払わせるものです。騙されたユーザに誤った満足感さえ与える、非常に悪質なものです。**

フィンランド、ヘルシンキ発 - 2010年1月26日

ユーザのデータを人質にして身代金を要求するサイバー犯罪は、決して新しい手法ではありません。しかし、最近感染を拡大している新種のトロイの木馬は、より巧妙で、ユーザが被害に気が付かない危険性があります。

エフセキュアのCRO（セキュリティ研究所主席研究員）の**ミッコ・ヒッポネン**は、このトロイの木馬のことを次のように解説しています。「コンピュータが、"W32/DatCrypt Trojan"というトロイの木馬に感染すると、まず最初に Microsoft Office の書類や動画、画像などのファイルをいくつか DatCrypt によって暗号化し、さらにそのファイルがまるで破損したかのように偽装します。続いて、本物の Windows のメッセージのように見せかけたメッセージが現れ、『Windows が推薦するリカバリソフト』として"Data Doctor2010"をダウンロードし、実行するようにユーザに促します。」

ユーザがこのリカバリソフトをダウンロードし、実行してファイルの修復を試みると、「only repair one file in unregistered version (このソフトは無料版なので修復できるファイルはひとつだけです)」というメッセージが現れ、完全に修復する場合、或いは更に多くのファイルを修復する場合は、**89.95** ドルの製品版を購入するよう誘導します。製品版が購入されると、暗号化されたファイルは元に戻り、ユーザが自由にアクセスできるようになります。

**ミッコ・ヒッポネン**は、「このトロイの木馬は、かなり手の込んだ手法で機能しています。ユーザは、自分のファイルを取り戻してほっとしてしまい、まさか自分が単に暗号化されただけのファイルの為に、身代金を支払ったことに気が付かないかもしれません。更に被害者が友人にこの偽リカバリソフトを推薦する危険性もあります」と続け、「この様な詐欺手法は昨年流行した"File Fix Pro"のユーティリティと共通点がある」と指摘しています。

定期的なバックアップを怠っているユーザが、この手の詐欺の被害に遭う可能性が高く、エフセキュアでは、重要なファイルは、CD、DVD、USB メモリなどのリムーバブルメディア、もしくはエフセキュア オンラインバックアップ（日本未発売）のような、オンラインツールでのバックアップを推奨しています。

DatCrypt trojanに関する詳細はエフセキュアブログをご覧ください。

<http://blog.f-secure.jp/archives/50325866.html>

## エフセキュア株式会社 会社概要

<http://www.f-secure.co.jp/>

エフセキュア社は、IT 先進国フィンランドで 1988 年に設立されて以来、20 年にわたりセキュリティ製品に取り組んでいる業界の老舗で、世界規模でセキュリティサービスを提供しています。1999 年に OMX ヘルシンキ証券取引所に上場し、以来、業界で最も急速に成長し続けている株式公開企業のひとつです。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009 年 5 月に日本法人設立満 10 周年を迎えました。

設 立 : 1999 年 5 月  
会 社 名 : エフセキュア株式会社  
代 表 者 : 日本法人代表 桜田 仁隆  
所 在 地 : 〒220-0011 横浜市西区高島 2-19-12 スカイビル 23F  
事業内容 : セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

<本件に関するお問合せ先>

### エフセキュア株式会社

担当：尾崎 [risa.ozaki@f-secure.com](mailto:risa.ozaki@f-secure.com)

TEL: 045-440-6780、 FAX : 045-440-6616

〒220-0011 横浜市西区高島 2-19-12 スカイビル 23F

URL: <http://www.f-secure.co.jp>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>